

## 子育てが気になる保護者のための

# 令和4年度 ペアレントトレーニング(家族教室)参加要項

### (1) 目的

子育てが気になる子どもの行動を理解し、適切な対応法を具体的に学び、練習することを通して、より良い親子関係づくりと子どもの適応行動の増加を目指しています。

### (2) プログラムの基本的考え方と進め方

- ・親自身が子どもにとっての「最良の支援者（理解者）」になるため、予定表に沿って、各回テーマを決めて学習をすすめます。ホームワーク（宿題）として自宅でも練習します。
- ・ステップバイステップで行いますので、毎回のセッションの最初に前回のホームワークのふりかえりを行い、達成度を深めて、次のステップに進んでいきます。
- ・セッション参加は親の方ですが、「親子あそびタイム」や「ごほうびシール」自宅で行うことで、子どもにも参加してもらうことができ、家庭環境を構造化（ルール作り）したり、指示に一貫性を持たせる試みをしたりしていきます。行動療法の理論に基づいて、よい注目（ほめる）と限界設定（ペナルティ）を上手に与えていくことで、子どもに指示が通りやすくなり、親子関係の安定化と子どもの適応行動の増加がみられてきます。さらに、親のストレスの軽減、子どものセルフエスティーム（自尊心）の回復などを目的のひとつとします。
- ・また、参加メンバー同士で、相談しあい、お互いにセルフエスティーム（自尊心）を高めあっていくというサポート機能も期待されます。
- ・なお、子どもの行動や態度がただちによくなるものではないことをご承知おきください。

### (3) 参加するための約束事

セッションの進行上、毎回参加が原則です。また、グループで行いますので、遅刻も厳禁です。家庭での練習が最も大切ですのでホームワーク（宿題）は必ずやってきてください。

※同封のアンケートは初日までに記入して持参ください。

### (4)パイロットスタディとしての協力をお願い

効果を高め、その有効性をフィードバックしていくためには、より客観的な状況把握と効果判定が必要です。そのため、アンケートと評価尺度へのご協力もお願いします。

### (5) 秘密保持の厳守と費用について

- ・セッション中の話の内容やアンケート結果などについては、プライバシーを遵守します。参加される皆さんも、他のメンバーのプライバシーへの十分な配慮をお願いします。
- ・新しい試みですので、スタッフと参加メンバーの皆さんで話し合いながら、自分たちに合ったスタイルで、かつ楽しく進めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします

・資料代 3,000円（全経費）

### (6) 研修内容

第1回	6月8日（水）	役場3階会議室301	オリエンテーション
第2回	6月22日（水）	役場3階会議室301	子どもの行動の観察と理解
第3回	7月6日（水）	役場3階会議室301	子どもの行動への良い注目の仕方と3つの行動のタイプ分け
第4回	7月20日（水）	役場4階委員会室①	前半ふりかえり
第5回	8月3日（水）	役場3階会議室301	子どもが従いやすい指示の出し方
第6回	8月17日（水）	役場4階委員会室①	上手な無視の仕方（ほめるために注目を外す）
第7回	8月31日（水）	役場3階会議室301	トークン表（めあて表）と限界設定
第8回	9月14日（水）	役場3階会議室301	ふりかえり

(7) 場 所： 与那原町役場会議室

(8) 時 間： 10:30～12:00 (9) 募集人数： 6名～8名

(10) 主 催： 与那原町（福祉課） Tel945-1525

(11) 講 師（委託先）： NPO法人 わくわくの会 さぼーとせんたー i Tel987-1167

(12) 申込期間・方法： 4月22日（金）までに福祉課へ申込書提出をお願いします。

# 令和4年度ペアレント・トレーニング参加申込書

( 年 月 日現在)

名 前 (親)	
名 前 (子)	
生年月日 (子)	年 月 日 (男・女 / 歳)
学 校	学校 年生
住 所	(〒 ー )
電話番号&ファックス	
メールアドレス	
診断名または症状など	
備 考  (その他今回の学習会で期待することなどを 書いてください)	

(参加に当たっての注意点)

- ・ 遅刻や欠席をしないでください。
- ・ 毎回宿題があるので、必ずやってきて下さい。
- ・ 宿題に出される対応を試すために、対象のお子さんは一人に設定して下さい。

## 子どもの行動観察（家庭状況版）

お子さんの名前

記入年月日

家族の方（記入者）の名前

あなたのお子さん（訓練対象者）は、以下の各々の状況で、どの程度あなたの指示や命令、あるいはルールに従うことに問題がありますか。

もし、問題があれば「はい」に○をつけ、あなたにとってその問題がどの程度重大かについて「1（軽度）－3（中等度）－5（最重度）」の間で最も当てはまる数字に○をつけてください。問題がなければ、「いいえ」に○をつけてください。

- |                           |        |           |
|---------------------------|--------|-----------|
| 1. ひとりで遊んでいる時             | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 2. 兄弟で遊んでいる時（兄弟がいない時は無回答） | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 3. 他の子と遊んでいる時             | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 4. 食事の時                   | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 5. 着替えの時                  | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 6. 洗面や入浴の時                | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 7. テレビ・ビデオを見ている時          | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 8. テレビゲームをしている時           | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 9. あなたの電話中                | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 10. 家に訪問者のいる時             | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 11. 誰かの家に訪問する時            | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 12. 公共の場（レストラン、スーパー、病院など） | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 13. 学校                    | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 14. 父親が家にいる時              | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 15. お手伝いを頼んだ時             | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 16. 宿題をする時                | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 17. 就寝時                   | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 18. 車の中にいる時               | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |
| 19. その他（具体的に              | はい・いいえ | 1－2－3－4－5 |

資料 2

子どもの行動観察（対応版）

お子さんの名前

記入年月日

家族の方（記入者）の名前

現在、あなたのお子さんの行動について、対応に困っていることについておうかがいします。特にセッション中にとりあげてほしいひとつの行動についてお答えください。

Q1. それはこういった場面・状況で起こりますか？

Q2. その状況で、子どもはどのようなことをするのですか？

Q3. その行動が起こった時、あなたはこういった対応をしますか？

Q4. それに対して子どもの反応はどうなりますか？

Q5. そういったやりとりは、結局どうやって終わりますか？

Q6. このような不適応行動は、どのくらいの頻度で起こりますか？

Q7. このような不適応行動に対して、あなたはどう感じますか？

## 資料3

## ADHD-RS (家庭版)

お子さんの名前 記入者の名前	性別 男 女	年齢	才		学年
			(母、父、その他 ない、ほとんどの ときどき しばしば	)	記入日 非常にしばしばある
1. 学校の勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする。	0	1	2	3	
2. 手足をそわそわ動かしたり、着席していてもじもじしたりする。	0	1	2	3	
3. 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。	0	1	2	3	
4. 授業中や座っているべき時に席を離れてしまう。	0	1	2	3	
5. 面と向かって話しかけられているのに、着ていないようにみえる。	0	1	2	3	
6. きちんとしていなければならぬときに、過度に走り回ったりよじ登ったりする。	0	1	2	3	
7. 指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない。	0	1	2	3	
8. 遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい。	0	1	2	3	
9. 課題や活動を順序立てて行うことが難しい。	0	1	2	3	
10. じっとしていない、または何かに駆り立てられるように活動する。	0	1	2	3	
11. 精神的な努力を続けなければならない課題(学校での勉強や宿題など)を避ける。	0	1	2	3	
12. 過度にしゃべる。	0	1	2	3	
13. 課題や活動に必要なものをなくしてしまう。	0	1	2	3	
14. 質問が終わらないうちに出し抜けて答えてしまう。	0	1	2	3	
15. 気が散りやすい。	0	1	2	3	
16. 順番を待つのが難しい。	0	1	2	3	
17. 日々の活動で忘れっぽい。	0	1	2	3	
18. 他の人がしていることをさえぎったり、邪魔したりする。	0	1	2	3	

(2005. 5. 15. 山崎先生案による翻訳)

あなたが最初に上記の問題に気づいたのはお子さんが何歳の時ですか。 \_\_\_\_\_